

# 来週の「売り物」記事はこれ



2013年9月6日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 平成「経営の神サマ」

### 稲盛和夫の「闘魂」

朝刊 8日 (日)



高度成長の時代、「経営の神サマ」と呼ばれた実業家がありました。久しく、カリスマ経営者の系譜は途絶えていたなか、「当代の神サマ」という呼び声の高いのが、JAL再建を成し遂げた稲盛和夫氏(81)＝写真＝です。ゼロから京セラを起業し、既得権益に守られた通信業界に



「異議あり」を申し立てて第二電電(現KDDI)を創業しました。でも、「神サマ」たらしめようとしているのは、なにも経営者としての手腕だけではありません。「動機善なりや、私心なかりしか」——という言葉に代表される、独特なその経営哲学にあるようです。稲盛氏は「心の経営」を唱え、とりわけ若手経営者から支持されています。その熱狂ぶりから、時に「稲盛教」とも揶揄(やゆ)されるほどです。その一方で、ドラスチックな経営者としても知られます。二元論では推し量れない<人間 稲盛和夫>に迫ります。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

## 京がたり・日本再発見

### 伊吹文明衆院議長が語る「京都と政治」

夕刊 3面 11日 (水)



今年4月にスタートした「京がたり」。各界の著名人に京都に語ってもらう企画で、今回登場するのは伊吹文明衆院議長(75)＝写真＝です。伊吹議長は京都・室町で繊維問屋を営む商売人の家に生まれ、京都人の気質に詳しく、小さいころから「世間様に顔向けができないことはするな」としつけられました。伊吹議長は「今の政界を見ていると、まるで新しく京都に入った人たちが、土地の流儀を知ろうとせずに理屈を並べたてているよう」と話す。その心とは……。

## みんなの体幹力アップ

くらしナビ面 10日 (火)

最近、「体幹力」という言葉をよく耳にします。体幹とは肩の周りから脚の付け根辺りまでの胴体部分を指し、この部分を鍛えると体全体のバランスが改善されると言われます。トレーニング論が専門の眞鍋芳明・国際武道大准教授に、体幹を鍛える簡単ストレッチやトレーニング方法を聞きました。全2回です。



## 大切な人の死と向き合う くらしナビ面 11 日 (水)

東日本大震災からまもなく2年半たちますが、家族や大切な人を失った悲しみは消えることはありません。大震災に限らず、かけがえのない人の死と私たちはどう向き合えばいいのでしょうか。大震災がテーマで、芥川賞候補にもなった、いとうせいこうさんの「想像ラジオ」に影響を与えた批評家、若松英輔さんに聞きました。



## アタマジラミ くらしナビ面 15 日 (日)



人の頭に寄生して激しいかゆみを起こす「アタマジラミ」。戦後、殺虫剤で駆除されましたが、最近、そのシラミの相談が増えています。幼い子どもは頭をくっつけて遊んだり寝たりする機会が多いため感染が多く、特に秋は感染が増える季節でもあります。シラミの卵の見つけ方や対処法をまとめました。